スキー用品バザー開催に向けて 課題検討事項など

1. 全体立案について

問題点
・検討に向けた開始時期が遅すぎた。
要因
・コロナ禍による、初期活動立ち上げの遅れ。
対策
・青森市ＰＴＡ連合会組織立ち上げをあと３か月前倒しする。 ・アンケート実施は、次年度実施も見据えた内容を検討。

２．スケジュールについて

問題点
・バザー開催は 10～11 月が理想。 ・11 月に 開催に向けた検討を行ったが、12 月会場を確保できなかった。
要因
・中央市民センターは３ヶ月前から会場予約を受け付けており、12 月に実施するのであれば現実的には 9 月の予約が必要。
対策
バザーを 11 月開催とする場合の妥当なスケジュール ・8 月会場確保 ・8～10 月　実施検討、条件の検討、各単Ｐへの案内 ・実施日スケジュール案 ・準備 30 分（８：30～9：00） ・持ち込み 5 時間（9：00～14：00） ・引き渡し 4 時間（11：00～15：00） ・後片付け 1 時間（15：00～16：00） ・処分対応（翌日以降）

3. バザー形態（販売）について

問題点
・金銭を得る開催の場合、いくつかの課題がある。 ①会場確保の制限 ②販売したスキーで事故が起きた場合の責任問題
要因
①会場利用料が発生、学校含めた公的機関の確保が困難 ②金銭受け取った以上、営利を受け取った責任が生じる
対策
・販売ではなく、無償提供を前提とする。

４．バザー形態（準備）について（残った物品の買取り業者の調査）

問題点
・業者買い取りの条件
要因
・利用 10 年以内 ・壊れていない ・商品に名前等の記載がない
対策
・事前に持ち込み条件を提示する。

５．バザー形態（処分）について

問題点
・残った分については、青森市ＰＴＡ連合会での処分が必要
要因
・全てを業者が買取りする保証がない ・業者買取前提としないレベルの商品も取り揃えるべき
対策
・青森市ＰＴＡ連合会として、処分の予算を確保。 ・個別に産廃処理場に持参する。

６．バザー反対者に対する事前ネゴについて

問題点
・連絡先不明
要因
・連絡先不明
対策
・学校経由で連絡、青森市ＰＴＡ関係者からのコンタクト ※事前アンケートにより、単Ｐのバザー対象となっている等…etc